

世田谷区衛生検査センター 年報

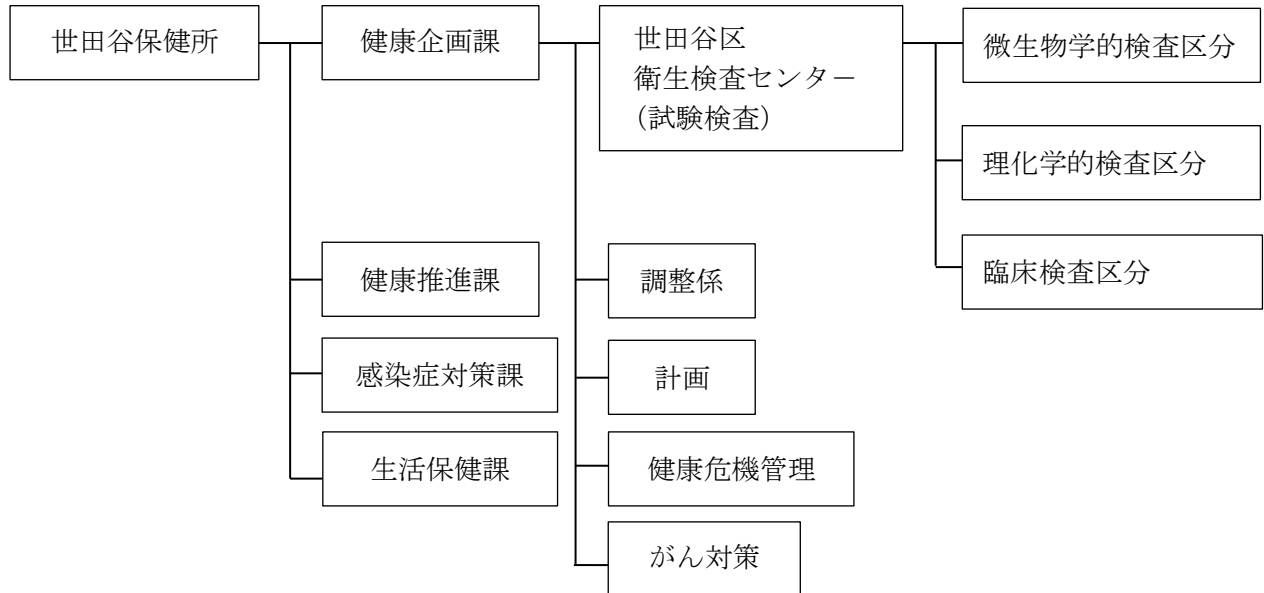
第 9 号

令和 6 年度版

1	組織	1
	(1) 構成	1
	(2) 人員配置	1
2	事業内容及び実績	2
	(1) 食品衛生検査	2
	(2) 放射性物質検査	3
	(3) 環境衛生検査	3
	(4) 臨床検査	4
	(5) 家庭用品検査	5
3	相談品等検査結果	6
4	精度管理調査	6
	(1) 東京都・特別区衛生検査機関における精度管理調査	6
	(2) 外部精度管理調査	6
5	会議・研修・学会等・参加状況	7
	(1) 地方衛生研究所（会議・研修）	7
	(2) 学会	8
	(3) 研修および講習会	8
6	所内実施研修	9

1 組織（令和6年4月1日現在）

（1）構成



（2）人員配置

	職種			
	検査技術		食品衛生 監視	事務
	常勤職員	会計年度 任用職員	常勤職員	会計年度 任用職員
微生物学的検査区分	4	1	1	1
理化学的検査区分	3	2		
臨床検査区分 ^{※1}	6 ^{※1}	2 ^{※1}		

※1 臨床検査区分は微生物学的検査区分と理化学的検査区分の職員が兼務している。

2 事業内容及び実績

世田谷区衛生検査センターでは、区民の食生活、生活環境、感染症等に関する安全確保のための検査を実施している。

保健所の関係課、および区民からの依頼を受けて下記の検査を実施した。

(1) 食品衛生検査

世田谷保健所生活保健課の衛生監視業務に伴い区内で製造された食品、一般に流通する食品等の細菌検査および食品添加物、残留農薬等の化学検査を実施している。また、生活保健課に区民から寄せられた相談等にもなう検査にも対応している。令和6年度は食品細菌検査で312検体、食品化学検査で100検体の検査を実施した。検査項目数については表1に示した。

表1 食品衛生検査項目数

検査項目		検査項目数		
食品細菌	細菌数		296	
	大腸菌群		294	
	大腸菌		291	
	黄色ブドウ球菌		291	
	サルモネラ		250	
	腸管出血性大腸菌※2		1, 632	
	腸炎ビブリオ		36	
	セレウス		0	
	カンピロバクター		33	
	真 菌		0	
	ウェルシュ		0	
	リステリア		10	
	黄色ブドウ球菌エンテロトキシン型別		6	
	クロストリジウム属菌		1	
	その他		0	
	残留抗生物質簡易検査法		0	
	成分規格 ※3	細菌数		19
		大腸菌群		30
		大腸菌最確数		10
		サルモネラ		10
黄色ブドウ球菌		10		
腸炎ビブリオ最確数		16		
クロストリジウム属菌		1		
計			3, 140	
食品化学	保存料		480	
	甘味料		280	
	酸化防止剤		30	
	着色料		650	
	漂白剤		10	

	殺菌料	0
	発色剤	0
	発酵調整剤	0
	品質保持剤	0
	油脂試験	0
	防かび剤	35
	特殊窒素化合物	0
	強化剤	0
	酸味料	0
	重金属類	0
	官能試験	0
	抗菌性物質等	0
	農薬	1,860
	アレルギー物質	0
	容器包装	0
	その他	10
	計	3,355

※2 腸管出血性大腸菌 0157、026、0111、0103、0121、0145 の 6 血清型の検査を実施している。

※3 成分規格の件数は再掲。検査項目の設定は食品衛生法等による。

(2) 放射性物質検査

平成 24 年度より、区内保育園、区立小中学校の給食、川場村移動教室提供食の放射性物質検査を実施している。また、区民が食品を持ち込んで自身で測定を行う区民検査を実施している。検査項目はセシウム 134 および 137 で、検体数と検査項目数は表 2 に示した。基準に適合しないものはなかった。

表 2 放射性物質の検査数

依頼元	検体数	検査項目数
学校・調理場	188	376
保育園	246	492
その他	42	84
食品の放射性物質区民検査	0	0
計	476	952

(3) 環境衛生検査

世田谷保健所生活保健課の衛生監視業務に必要なプール水、公衆浴場水等の水質検査を実施している。令和 6 年度は利用水^{※4}が 223 検体、プール水が 151 検体の検査を実施した。また、おしぼり等の検査として 4 検体を実施した。その他の一般環境検査（室内空気・真菌検査等）を 5 検体実施した。検査項目数について表 3 に示した。

表3 環境衛生検査項目数

検査項目			検査項目数
利用水※4	細菌	一般細菌	22
		大腸菌群	159
		大腸菌（E. coli）	6
		レジオネラ属菌	188
		レジオネラ PCR	14
		従属栄養細菌	0
		その他	0
	化学	硝酸態・亜硝酸態窒素	0
		鉄	0
		塩化物イオン	0
		過マンガン酸カリウム消費量	139
		pH 値	165
		臭気	0
		色度	0
		濁度	165
		外観	0
		金属類	0
		その他	0
		計	
プール水	細菌	一般細菌	150
		大腸菌	150
		レジオネラ属菌	19
		レジオネラ PCR	1
	化学	pH 値	150
		濁度	150
		過マンガン酸カリウム消費量	150
計			770
おしぼり等 ※5	細菌	一般細菌数	4(1)
		大腸菌群	4(1)
		黄色ブドウ球菌	4(1)
		異臭	4(1)
		変色	4(1)
		異物	4(1)
計			24(6)
その他の一般環境検査			275

※4 利用水には浴槽水、冷却塔水、循環給湯水、修景水を含む。

※5 おしぼり等の () 内の数はタオルの数を再掲した。

(4) 臨床検査

感染症の発生予防及びそのまん延の防止を目的とする腸内細菌やノロウイルス、
ぎょう虫卵の検査、結核接触者検診の QFT 検査および性感染症予防事業に伴う HIV
抗原抗体検査、梅毒検査を実施している。表4に検査項目数等を示した。

表 4 臨床検査の検体数および検査項目数

検査項目		検体数	検査項目数
梅 毒	STS 法定性	236	236
	TPPA 定性		236
	STS 法定量		2
	TPPA 定量		1
計		236	475
H I V	ELISA 法	236	236
計		236	236
寄生虫	寄生虫卵 ^{※6}	22	22
	虫体鑑別	0	0
計		22	22
腸内細菌 ^{※7}	健康相談	454	2, 054
	患者関係者等	86	86
	その他 ^{※8}	0	0
計		540	2, 140
ノロウイルス	リアルタイム PCR	5	5
計		5	5
結核	QFT	366	366
計		366	366
総計		1, 405	3, 244

※6 寄生虫卵はセロハンテープ、スライド、集卵法を含む。

※7 腸内細菌の健康相談の項目は、赤痢、チフス、パラチフス、その他のサルモネラ及び腸管出血性大腸菌 0157 であり、患者関係者等の項目は、さらに腸管出血性大腸菌 026、0111、0103、0121、0145 を含む。

※8 腸内細菌のその他とは、ノロウイルス検査時、もしくは感染症発生時に行う検査を表す。項目は、赤痢、チフス、パラチフス、その他のサルモネラ、腸管出血性大腸菌 0157、026、0111、0103、0121、0145 である。

(5) 家庭用品検査

世田谷保健所生活保健課より搬入される繊維製品や接着剤中に含有されるホルムアルデヒドおよび洗剤の検査を行っている。検査項目数を表 5 に示した。

基準に適合しないものはなかった。

表 5 家庭用品検査項目数

検査項目		検査項目数
塩化水素・硫酸 (NaOH 消費量)		0
水酸化ナトリウム・水酸化カリウム (HCl 消費量)		0
強度試験	漏水	0
	落下	0
	耐酸・耐アルカリ	0
	圧縮変形	0
ホルムアルデヒド		32
メタノール		0
計		32

3 相談品等検査結果

世田谷保健所生活保健課によせられた相談のうち、検査の依頼を受けたものについて下表にまとめた。

相談内容	検査対象物	検査項目	検査結果
どら焼きから 石油臭がする	どら焼き	官能試験 細菌数	官能試験で異常は 認められなかった どら焼きの皮 11000/g どら焼きの餡 4500/g

4 精度管理調査

(1) 東京都・特別区衛生検査機関における精度管理調査

都区保健衛生試験検査機関における検査技術の維持・向上を図ることを目的として、「精度管理調査実施要綱」（平成2年3月20日付）に基づき、精度管理調査が行われている。（事務局：東京都健康安全研究センター）

内部精度管理調査として参加した。

年月	検査区分	内容
令和6年9月	水質化学	過マンガン酸カリウム消費量
	食品化学	加工食品中の甘味料の分析
令和6年10月	食品細菌	細菌数の測定、大腸菌群及びカンピロバクターの検出
	腸内細菌	赤痢菌、サルモネラ（チフス菌、パラチフスA菌を含む）、腸管出血性大腸菌（O157、O26及びO111）の分離・同定（自由参加項目）腸管系病原菌

(2) 外部精度管理調査

（財）食品薬品安全センターの配布検体による食品衛生外部精度管理調査事業に参加した。

年月	検査区分	内容
令和6年6月	理化学	食品添加物検査Ⅱ 保存料（ソルビン酸）
	微生物	E. coli 検査 加熱食肉製品（加熱後包装）
令和6年7月	微生物	一般細菌数測定検査 氷菓
令和6年9月	理化学	残留農薬検査Ⅱ アトラジン、クロルピリホス、チオベンカルブ、フェニトロチオン、フェントエート、フルトラニルの6種農薬中の3種
令和6年10月	理化学	食品添加物検査Ⅰ 着色料（酸性タール色素中の許可色素）

5 会議・研修・学会等・参加状況

(1) 地方衛生研究所（会議・研修）

年月日	会議・研修	開催地等	参加人数
令和6年6月5日	第1回地方衛生研究所等を対象とした微生物分野の基礎的な研修	オンライン	1
令和6年6月7日	令和6年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	オンライン	1
令和6年7月5日	第78回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部総会	神奈川県	1
令和6年7月10日 ～7月11日	衛生微生物技術協議会第44回総会・研究会	東京都	1
令和6年10月3日 ～10月4日	令和6年度地方衛生研究所全国協議会第38回 関東甲信静支部ウイルス研究部会	神奈川県	1
令和6年10月10日	令和6年度関東・東海ブロック家庭用品安全 対策会議	オンライン	1
令和6年10月28日	令和6年度地方衛生研究所全国協議会総会	北海道	1
令和6年10月28日	令和6年度市立衛生研究所・衛生試験所連絡 協議会総会	北海道	1
令和6年11月11日	令和6年度「地域保健総合推進事業」に係る 関東甲信静ブロック地域レファレンスセンタ ー連絡会議	オンライン	1
令和6年11月14日	地方衛生研究所等職員セミナー(初任者向け)	東京都	3
令和6年11月21日 ～11月22日	第61回全国衛生化学技術協議会年会	大阪府	1
令和6年12月2日	第1回 試験検査担当者を対象としたWeb講習 会(理化学系)	オンライン	3
令和6年12月18日 ～12月19日	令和6年度 希少感染症診断技術研修会	オンライン	2
令和6年12月19日	令和6年度「地域保健総合推進事業」に係る 第2回関東甲信静ブロック会議	オンライン	1

年月日	会議・研修	開催地等	参加人数
令和6年12月20日	第3回感染症危機管理研修会	オンライン	2
令和7年1月16日 ～1月17日	第36回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究会総会・研究会	埼玉県	1
令和7年1月17日	第1回 職員の試験検査技術の啓発に関する取組(理化学系現場の会)	東京都	1
令和7年2月7日	令和6年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第37回理化学研究部会総会・研究会	長野県	1
令和7年2月13日	令和6年度地方衛生研究所全国協議会理化学部会衛生理化学分野研修会	オンライン	1
令和7年2月28日	地方衛生研究所におけるゲノム検査等に係る人員体制及び人材育成法を確立させるための研究班—2024年度成果報告—	オンライン	6
令和7年3月10日	地域保健総合推進事業 技術研修会「食品苦情」	オンライン	6

(2) 学会

年月日	学会名	開催地	参加人数
令和6年11月7日 ～11月8日	日本食品衛生学会第120回学術講演会	愛知県	1

(3) 研修および講習会

年月日	内容	開催地又は場所	参加人数
令和6年5月24日	病原体等の包装・運搬講習会	東京都	1
令和6年6月6日	特別区職員技術研修 環境衛生化学	東京都健康安全研究センター	1
令和6年6月13日	令和6年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東京都	1
令和6年6月20日	有機フッ素化合物(PFAS)について	オンライン	1
令和6年9月30日	令和6年度専門研修「検査技術」	特別区職員研修所	3

令和6年10月16日 ～10月17日	JMS-Q1500GC/JMS-Q1600GC 操作(定性)コース	東京都	1
令和6年11月15日	LC、LC/MS 分析結果の信頼性を高めるバイアル選択の基礎知識	オンライン	1
令和6年12月3日	第44回レジオネラ対策シンポジウム	オンライン	1
令和7年1月8日	特別区職員技術研修 残留物質(農薬等)	東京都健康安全研究センター	1
令和7年3月19日	令和6年度東京都衛生検査所精度管理講習会	オンライン	1

6 所内実施研修

年月	検査区分	研修内容	開催場所	出席者
令和6年5月 ～6月	細菌	レジオネラ属菌検査研修	世田谷区衛生検査センター	生活保健課 環境衛生施設 係職員
令和6年9月	臨床	臨床検査(HIV 検査、梅毒検査、QFT 検査)研修	世田谷区衛生検査センター	感染症対策課 職員